

安全情報

2019年4月15日

非血縁者間

骨髄採取認定施設採取責任医師 各位

末梢血幹細胞採取認定施設採取責任医師 各位

日本造血細胞移植学会移植認定診療科責任医師 各位

移植医師 各位

登録医師 各位

(公財) 日本骨髄バンク

医療委員会

末梢血幹細胞の一部がシャーベット状になっていた事例について（続報）

過日、採取 2 日目に採取施設から保冷運搬されたバックの中に一部シャーベット状の塊が浮遊していた事例が移植施設より報告され、運搬者の日本通運(株)（以下、日通）に対し、原因究明と再発防止策が示されるまで保冷運搬の中止を申し入れました（2 月 15 日付マンスリーJMDP 参照）。

https://www.jmdp.or.jp/documents/file/04_medical/notice_f/2019_02_15.pdf

この度、日通より原因ならびに再発防止策が提示され、医療委員会で審議した結果、原因への対策は立てられていることから「提示された再発防止策を徹底していただくことを前提に再開可能とする。」となりました。なお、標記事例については採取施設での保冷材準備にあたっても注意を要するとされたことを申し添えます。

今後、当法人では保冷運搬に関する手順書等の整備を行う予定ですが、先生方におかれましても、自施設での保冷運搬の際には保冷剤準備等の手順について再度ご確認くださいようお願いいたします。

<原 因>

- 1.運搬時に使用する保冷剤の凍結から解凍までの手順書「定温マルチ BOX と保冷する保冷剤の標準運用方法」を事前の準備物に同封していなかったこと。
- 2.上記 1.により、採取施設が一般的に用いない温度設定(-80℃)で保冷剤を凍結し、そのまま梱包していたこと。

<今後の対策>

- 1.日通の保冷運搬に際し、骨髄液等保冷輸送サービス手順書「骨髄液等パック及び保冷剤の梱包方法」及び「定温マルチ BOX と保冷する保冷剤の標準運用方法」同封の徹底
- 2.日通内部マニュアル「骨髄液運搬確認書」使用の徹底
- 3.JMDP 採取認定施設に対する案内文書の見直し

以 上